

兵庫県のタマムシ(2)*

高橋 寿郎

Subfamily Agrilinae Gory et Laporte, 1837

ナガタマムシ亜科

Genus *Coraeus* Gory et Laporte, 1839

ナカボソタマムシ属

20. *Coraeus daisenensis* Miwa, 1940

ミヤマナカボソタマムシ

本種は平山修次郎がその著原色甲虫図譜の中で鳥取県大山産(14.VII.1939)をもってカラーで図説して *Coraeus daisenense* Miwa ダイセンタマ(雌)として、示されたものが初めてのものである。三輪勇四郎・中條道夫両博士は同じ年、鳥取県・大山、広島県・大峯山、富士山麓産標本でこちらもカラーで *Coraeus montanus* Miwa et Chujo, ミヤマナカボソタマムシと云った新種記載をされた(Nippon no Kochu, Vol. III, No. 2, p. 56-57, 67-68, pl. VII, fig. 14, 1940)。しかもこの両者が同一種なのである。

平山の図譜のものは三輪勇四郎博士が記載されたものではないが、数行ではあるが一般的な形態の記載があるので、これを無記載とは出来なく、有効な記載と認めなくてはならぬ命名人は平山修次郎自身である。種名は鳥取県大山にちなむものであるから *daisenense* であり属名は男性形であるから種名も男性形の *daisensis* に改めなければいけないと黒沢良彦博士は述べている。そして和名は先占権はないが適当と思われるミヤマナカボソタマムシを残したとある(甲虫ニュース, No. 102, p. 12, 1993)。

体長, 10-13mm。上翅の後半は常に紫黒色を帯び光沢が弱い。青藍色部はときに青銅色を帯びる。サワフタギ, ハイノキなどにつく。

兵庫県下での分布は限定されているようである。産地。氷上郡佐治[山本, 1958]。養父郡水の山(1ex., 12.VIII.1955, Yoshizaka leg.), [中根, 1953, 高橋, 1982]。美方郡扇の山[辻, 1970, 辻, 岸田, 1972, 高橋, 1976, 1982]。

21. *Coraeus ishiharai* Y. Kurosawa, 1943

サビナカボソタマムシ

頭胸部は唐金色を帯び、上翅は光沢のない鉄錆色で紫色を帯びる。上翅の斑紋は黄金色からなる。

ヤマボウシにつくといわれている。全国的にも少ない種のようなのである。兵庫県下からは次の記録が知られているだけである。

産地。宍粟郡波賀町水ノ山坂の谷林道[内藤, 1997]。

22. *Coraeus quadriundulatus* Motschulsky, 1866

シロオビナカボソタマムシ

体長, 5-9mm。頭胸部は唐金色ないし緑を帯びた青銅色, 上翅は青銅色ないし紫銅色。発生の末期になると青ないし紫藍色を帯びるものが多くなる。4-7月に出現, クマイチゴなどキイチゴ類の葉上に見られる。兵庫県にも広く分布し普通に見られる。

産地。川辺郡猪名川町木間生[仲田, 1978, 1982], 槻並(1ex., 4.V.1979)。宝塚市玉野[伊藤, 1992]。西宮市盤滝(3exs., 28.V.1987, etc.)。神戸市石楠花山麓(1ex., 1.VI.1984), 山の街(2exs., 10.IV.1949, etc.)。丹生山(1ex., 5.V.1956), 鈴蘭台大山公園(1ex., 30.IV.1972, Y. Hachitani leg.)。藍那(8exs., 10.V.1979)。三田市市内(2exs., 28.V.1983, Y. Hachitani leg.)。多可郡三谷(2exs., 19.IV.1975), 鳥羽(10exs., 29.IV.1972)。揖保郡新宮町福原(1ex., 15.V.1992)。相生市三瀬山(4exs., 6.V.1973, etc.)。宍粟郡福知溪谷(1ex., 3.VI.1975, M. Uma leg.)。水谷(1ex., 17.VII.1981), 音水(1ex., 20.VI.1959, etc.)。坂の谷(3exs., 9.VI.1973, etc.)。多紀郡篠山町[辻, 1970], 雨石山[林ほか, 1995]。氷上郡[山本, 1958]。城崎郡日高町奈佐路(2exs., 22.V.1986, etc.)。養父郡水の山(1ex., 27.VII.1957)。美方郡扇の山[奥谷, 1954, 辻, 岸田, 1972, 高橋, 1975, 1982]。

23. *Coraeus rusticanus* Lewis, 1892

ルイスナカボソタマムシ

体長, 8-11mm。頭胸部は唐金色でときに強く赤味を帯びる。上翅はときに中央部と基部が唐金色

* 兵庫県甲虫相資料・346

または青銅色を帯びる。ヤマハンノキ、ミヤマハンノキ、オオバヤシャブシなどのハンノキ類につく。

兵庫県では山地での記録があるのみである。

産地。養父郡氷の山[高橋,1975,1982]。美方郡扇の山(1♂1♀,25.VI,1995)[辻,1970,辻,岸田,1972,高橋,1982]。

Genus *Nalanda* Théry,1904

チビナカボソタママシ属

24. *Nalanda rutilicollis* (Obenberger,1914)

ムネアカチビナカボソタママシ

体長,3.5-5.0mm。体下と肢は黒色。両複眼間は下方に向け斜めに収斂する。前胸背板中央部の隆起は強く、その後部を中心に走る鋸刻は後縁部中央で小楯板に向けて収斂する。

アカメガシワにつく種で分布は広い。兵庫県下での記録は少ない。

産地。西宮市角石町[芦田,1983]。神戸市鳥原(1♂,4.VII.1983),山田町谷寺口[伊藤,1984]。

Genus *Toxoscelus* Deyrolle,1864

クリタママシ属

25. *Toxoscelus auriceps* (E.Saunders,1873)

クリタママシ

体長,3.5-6.0mm。前胸背板は多少銅紫色を帯び、まれに上翅基部や会合部も銅または唐金色を帯びる。6-8月頃出現。クリ、コナラ、クス、カシワ、スダジイなどにつく。

兵庫県下の記録はそれほど多くない。

産地。川西市笹部[仲田,1982]。神戸[N.S.Fisher,1921],摩耶山[Saunders,1873],有馬温泉[Schönfeldt,1888]。小野市山田(1ex.,22.VII.1987)。加東郡東条町森(1ex.,22.VI.1984,Y.Hachitani leg.)。氷上郡春日町小多利[高橋,1960,1962]。豊岡市妙楽寺[高橋,1975,1982]。

Genus *Agrilus* Curtis,1825

ナガタママシ属

26. *Agrilus asiaticus igai* Y.Kurosawa,1963

オオウグイスタママシ

体長,6.5-9.0mm。複眼の内縁は波曲する。内側隆線は弧状に波曲し、中央付近で側隆線に結合する。上翅は側縁部を除いて一様に銀灰色短毛で覆われる。ナラ、クヌギなどにつく。兵庫県下での記録は少ないが、神戸市鳥原貯水池畔では極めて多く産する。

産地。川辺郡猪名川町上阿古谷[仲田,1978,1982]。川西市横地[仲田,1978]。神戸市鳥原(1ex.,5.VI.1966, etc.)。

27. *Agrilus auriventris* E.Saunders,1873

ミカンナガタママシ

体長,8.0-10.0mm。上翅に顕著な斑紋を持つ種である。兵庫県下での記録は、次のものがあるだけである。

産地。淡路島三原町八木養宜[藤富,1995]。

28. *Agrilus brevitarsis* Lewis,1893

ルイスナガタママシ

体長,6-9mm。体色に変化が多く、唐金色、銅色、赤色、緑色、青色などいろいろとある。

従来 *Agrilus lewisi* Kerremans の学名で知られていた。Host plant は不明とのこと。兵庫県下での記録は次のとおりであるが、同定に疑問がある。産地。川辺郡猪名川町杉生新田[仲田,1982]。西軽井沢[仲田,1982]。

29. *Agrilus cyaneoiger* E.Saunders,1873

クロナガタママシ

体長,11.5-15.5mm。体は黒色で紫藍色の光沢を帯びる。上翅は毛斑を欠く。ミズナラ、クヌギにつく。兵庫県下には広く普通に産する。

産地。洲本市安乎町[堀田,1959]。三原郡慶野松原(1ex.,26.V.1983)。川辺郡猪名川町上阿古谷[仲田,1978]。木間生[仲田,1978]。内馬場[仲田,1978,1982]。槻並[仲田,1978,1982](2exs.,2.VII.1978)。川西市横地[仲田,1978]。宝塚市長谷[伊藤,1992]。神戸市六甲山(1ex.,15.VII.1956)。石楠花山麓(1ex.1.VI.1984)。山の街(1ex.,22.V.1949,etc.)。谷上(2exs.,30.V.1958)。藍那(1ex.,9.VII.1979)。木津(2exs.,30.V.1984)。鳥原(1ex.,28.V.1980,etc.)。三田市高次[辻,1970]。小野市山田(1ex.,23.VI.1987)。加東郡東条町森(1ex.,7.VI.1984)。多可郡鳥羽(1ex.,5.VII.1975)。龍野市神岡町(2exs.,26.V.1988,etc.)。

揖保郡新宮町福原(1ex.,7.VII.1992). 相生市三濃山(2exs.,20.VII.1974). 宍粟郡福知溪谷(1ex.,16.VI.1975, etc.). 多紀郡篠山町[辻,1970], 雨石山[Hayashi etc., 1995]. 水上郡[山本,1958]. 豊岡市妙楽寺[高橋, 1975]. 城崎郡日高町奈佐路(1ex.,19.VI.1986). 養父郡氷の山(2exs.,21.VII.1958), [高橋,1982], 八鹿町岩崎[佐藤,1997]. 美方郡扇の山[辻,1970, 辻,岸田,1972, 高橋,1982].

30. *Agrilus daimio* Obenberger,1936

ダイミョウナガタマムシ

体長,6.0-6.3mm. 前胸側縁は強く膨出し, 内側隆線は弱いが波曲しながら前角付近まで達する. 上翅は中央後方を残し, 暗灰色毛で覆われ, 銀白色毛で形成された毛斑をもつ. アブラチャンにつくといわれている. 兵庫県下での記録は少ない. 産地. 揖保郡新宮町福原(1ex.,10.VI.1992). 宍粟郡赤西(2exs.,23.VI.1979,M.Toyama det.), (1♂,23.VI.1979,T.Takahashi leg.,遠山,1980).

31. *Agrilus decoloratus alazon* Lewis,1893

シラホシナガタマムシ

体長,9.5-13.2mm. 複眼の内縁は明らかに波曲する. 頭楯は触角孔間で明らかに巾広, 内側隆線は非常に弱く短い. エノキにつく. わりとはっきりした種である.

県下の記録はあまり多くない.

産地. 神戸市烏原(1ex.,26.VI.1966,etc.), 須磨鉢伏山(1ex.,19.VI.1990,Y.Hachitani leg.). 宍粟郡赤西(1ex.,3.VI.1979,etc.), 坂の谷(1ex.,22.VII.1979). 養父郡氷の山[高橋,1982].

32. *Agrilus discalis* E.Saunders,1873

ヒシモンナガタマムシ

体長,5.2-10.2mm. 独特な斑紋を有するので他種との区別は容易. エノキ, ムクノキ, ケヤキなどにつく. 兵庫県下には広く分布, 普通に見られる. 産地. 川西市山原, 笹部[仲田,1978,1982]. 伊丹市[河上,1984]. 宝塚市上佐曾利・川面[伊藤,1992]. 神戸市山の街(1ex.,5.V.1955), 丹生山(3exs.,5.V.1956), 木津(1ex.,11.V.1984), 藍那(1ex.,20.V.1993), 石井ダム(2exs.,22.X.1991), 烏原(1ex.,1.V.1977,etc.), 伊川谷(1ex.,15.V.1981), 多井畑(3exs.,27.IX.1990,etc.). 朝来郡須留ヶ峰(1ex.,31.VIII.1975,M.Yuma leg.). 揖保

郡新宮町福原(1ex.,22.VI.1992). 佐用郡久崎(1ex.,16.VI.1958). 宍粟郡福知溪谷(1ex.,16.VI.1975,M.Yuma leg.), 音水(2exs.,20.VI.1959), 赤西(1ex.,21.V.1979, etc.). 多紀郡丹南町竜造寺[山本,1958, 辻,1970].

33. *Agrilus fortunatus* Lewis,1892

コガネナガタマムシ

体長,6.8-8.3mm. 体色は唐金色を帯びた緑色. ときに唐金色. 古い個体では青味を帯びる. 側隆線は湾曲し, 非常に短い. 上翅には各3個の銀灰色の毛斑をもつ. ケヤキにつく.

兵庫県下での記録はそれほど多くない.

産地. 三田市大船山[小田中,1994]. 神戸市烏原(1ex.,12.V.1984,etc.). 美嚙郡吉川町(1ex.,14.VII.1986). 城崎郡三川山[高橋,1982], 日高町奈佐路(1ex.,25.V.1986). 養父郡氷の山[高橋,1982]. 美方郡扇の山[辻,1970, 高橋,1982].

34. *Agrilus hattorii* Nakane,1983

ヒメアサギナガタマムシ

体長,4.0-5.8mm. アサギナガタマムシに似るが前胸背の側縁の円味がなく, 内側隆線を欠き体表面の色彩が異なることなどで区別される.

中根猛彦博士が摩耶山で採集した1♀(27.VI.1942)を paratype として記載された種である(Nakane, New or Little-know Coleoptera from Japan and its adjacent regions, X X X VII, Rec. Fac. Sci. Kagoshima Univ. (Earth Sci. & Biol.) No.16, p.111-112, 1983).

県での記録は他に1例あるだけである.

産地. 神戸市摩耶山[Nakane,1983], 藍那(1ex.,20.V.1993).

35. *Agarilus imitanus* Lewis,1892

ムネアカナガタマムシ

体長,7.2-11.0mm. 前胸は銅紅色を呈する. 内側隆線は長く湾曲する. 上翅は白色毛で覆われる. エノキにつく.

兵庫県下での記録は少ないが, 神戸市の烏原貯水池畔にはごく普通に見られる.

産地. 神戸市烏原(1ex.,27.V.1978,etc.). 小野市山田(1ex.,23.VI.1987). 宍粟郡福知溪谷(1ex.,20.VI.1976), 赤西[2exs.,28.V.1972,etc.,H.Hatanaka leg.].

36. *Agrilus kawarai* Y.Kurosawa, 1963

ホソクロナガタマムシ

体長, 7.3–9.5mm. フライシャーナガタマムシ *Agrilus fleischeri* Obenberger に似るが, 翅鞘の先端円く, 角張らず体やや細長い前胸背の側縁の形状と触角節形状が明らかに違う。

黒沢良彦博士が新種記載されたとき(Bull.Natn. Sci. Mus. Vol.6, No.2, p.107–108, 1962), 花野満男が養父郡大屋町西谷で採集した1♂(16.VII.1941)を検視標本の中に示されている。兵庫県下での記録はこれを知るのみである。

産地. 養父郡大屋町西谷[黒沢, 1963].

37. *Agrilus komareki* Obenberger, 1925

クワナガタマムシ

体長, 4.2–6.0mm. 複眼の内縁は波曲しながら下方へやや収斂する。頭楯は触角孔間で巾と長さはほぼ同長, 内側隆線は軽く湾曲, 中央付近まで達するが側隆線に結合しない。上翅毛斑をもたない。食樹はクワ, ハルニレ, ハイノキ。

兵庫県下での産はあまりよく知られていない。産地. 神戸市藍那(1ex., 26.V.1993), 多井畑(2exs., 23.V.1990). 氷上郡粟鹿峯[高橋, 1961, 1962].

38. *Agrilus marginicollis* E.Saunders, 1873

ブドウナガタマムシ

体長, 4.2–6.0mm. 前胸背板は明らかな中央溝をもち, 側縁はやや直線状, 内側隆線は弧状に湾曲し中央付近まで達し, その後隆線に沿って前角近くに達する。

G.Lewis が Hiogo で採集した標本によって Saunders が新種記載した(J. Linn. Soc. Zool. London, 11 : 516, 1873).

ブドウにつく種である。県下での記録は少ない。産地. Hiogo [April–1871, G.Lewis leg., E.Saunders, 1873]. 川辺郡猪名川町木間生[仲田, 1978, 1982]. 川西市笹部[仲田, 1978].

39. *Agrilus moerens* E.Saunders, 1873

アサギナガタマムシ

体長, 3.7–6.0mm. ヒメアサギナガタマムシに似る。前胸背側縁は膨出し, 弱い内側隆線をもつことで区別できる。コナラ, クヌギなどにつく。

兵庫県下には広く分布している。

産地. 川辺郡猪名川町木間生[仲田, 1978, 1982]. 川西市笹部[仲田, 1978, 1982], 横地[仲田, 1978, 1982]. 神戸市烏原(1ex., 8.V.1981, etc.), 藍那(1ex., 20.V.1993). 美囊郡吉川町奥山(2exs., 5.VI.1986). 加東郡東条町森(1ex., 11.V.1984, etc.), 社町三草(2exs., 7.V.1987, etc.). 龍野市神岡町(1ex., 26.V.1988, etc.). 宍粟郡音水(1ex., 31.V.1970, T.Takahashi leg., 遠山, 1980). 多紀郡雨石山[林ほか, 1995]. 氷上郡市島町竹田[高橋, 1961, 1962]. 城崎郡日高町奈佐路(1ex., 19.VI.1996).

40. *Agrilus micolanus* Obenberger, 1924

ロニノナガタマムシ

体長, 4.0–6.2mm. 複眼の内側はほとんど波曲せず, 緩やかに下方に収斂する。内側隆線は緩やかな弧を描き前方1/3付近で消失する。ハルニレ, クヌギが食樹として知られている。*Agrilus ronino* Obenberger, 1935 の和名で知られていたものである。

兵庫県下には稀のようである。

産地. 宍粟郡赤西[1ex., 25.VI.1972, H.Hatanaka leg.], (1♂, 23.VI.1979, T.Takahashi leg. 遠山, 1980).

41. *Agrilus pilosovittatus* E.Saunders, 1873

シラケナガタマムシ

体長, 3.7–5.5mm. 内側隆線は長く, 波曲しながら前角に達する。上翅は側縁部と会合部を除き銀灰色に覆われる。フジにつく。

兵庫県下に広く分布し, 特に神戸市内では普通。産地. 川辺郡猪名川町上阿古谷[仲田, 1978, 1982]. 川西市笹部[仲田, 1978]. 伊丹市[河上, 1984]. 宝塚市佐曾利(2exs., 7.VI.1959), 上佐曾利[伊藤, 1992]. 神戸市丹生山(2exs., 5.V.1958), 太山寺(1ex., 3.V.1967), 逢山峽(2exs., 2.VIII.1982), 谷上(1ex., 4.VI.1906), 西鈴蘭台大山公園(1ex., 16.VII.1982), 烏原(1ex., 30.VI.1963, etc.), 多井畑(2exs., 23.V.1990). 三木市細川中(2exs., 30.V.1985). 美囊郡吉川町(1ex., 6.VI.1985), 奥山(4exs., 10.VI.1986). 朝来郡生野町葛蒲谷(1ex., 8.VII.1956). 宍粟郡福知溪谷(1ex., 16.VI.1975, M.Üma leg.), 音水(1ex., 31.V.1970). 氷上郡[山本, 1958].

42. *Agrilus planipennis ulmi* Y.Kurosawa, 1956

アオナガタマムシ

体長, 11.5–15.0mm. 顔面は中央にV字溝をもつ。

内側隆線は弱いが明瞭で、中央付近まで達する。従来 *Agrilus macropoli ulmi* Y.Kurosawa とされていた。オニグルミ、サワグルミなどにつく種。県下の記録は次のものが知られている。産地。宍粟郡赤西[1♂,22.VII.1979,Yagi leg.,遼山,1981].

43. *Agrilus rokuyai* Y.Kurosawa,1976

トガリカラカネナガタママシ

体長,7.3-8.5mm. 内側隆線は弱く、側隆線とはほぼ平行に中央部付近まで達する。上翅は肩部、小楯板後方の会合部、中央付近、後方1/3、翅端に灰色毛斑をもつが、後方1/3の毛斑は会合部に沿って翅端紋とつながることが多い。カシ類につく。本種の Holotype と paratopotypes 3♂は養父郡大屋町筏で採集されたもので、黒沢良彦博士が新種として記載されたものである(Bull. Natn. Sci. Mus. ser. A(Zool),2(2):136,1963 に *Agrilus japonicus* Kerremans とカラー図説されているのもこの種に当たる)。兵庫県にはわりと分布広くいるように思われる。

産地。宝塚市香合新田[伊藤,1992]。多紀郡雨石山[Hayashi etc,1995]。養父郡筏[2♂,17.VI.1951,1♂,6.VII.1951,辻,1970=A. japonicus Kerremans, 黒沢,1976.3♂, Holotype & Paratopotypes 17.VI.1951, R. Morimoto leg.: Kurosawa,1976]。美方郡扇ノ山[2exs.,12.VI.1977,遼山,1978].

44. *Agrilus sibiricus* Obenberger,1912

ミドリツヤナガタママシ

体長3.5-7.7mm. 複眼の内線はわずかに波曲し、下方へ収斂する。前胸背板は小楯板の直前と内側隆線に沿って強くへこむ。内側隆線は湾曲し明瞭、中央付近で側隆線に結合する。上翅は毛斑を欠き翅鞘はまるいがやや裁断状、カエデ類につく。

Agrilus insuspectus Obenberger の学名で知られていたものがこの種になる。

県下の分布は広いようである。

産地。川辺郡猪名川町上阿古谷[仲田,1978,1982]。宍粟郡水谷[1ex.,17.VII.1981]、音水[1ex.,3.VI.1975, M.Yuma leg.,Toyama det.], 赤西[3exs.,23.VI.1979, M.Yuma leg.,Toyama det.], 養父郡坂の谷[1ex.,9.VI.1973], 氷の山[高橋,1982]。美方郡扇の山[高橋,1976,1982].

45. *Agrilus sinuatus yokoyamai* Y.Kurosawa,1963

アカバナガタママシ

体長,7.8-11.4mm. 体は銅赤色、ときに緑色味の強い個体が現れると。内側隆線は短く、湾曲するが側隆線に結合しない。

県下の記録は1例のみ知られている。若干同定に不安がある。

産地。川辺郡猪名川町内馬場[仲田,1982].

46. *Agrilus sospes* Lewis,1892

シロテンナガタママシ

体長,5.2-8.5mm. Lewis により "Higo-Yuyama, Kumamoto Pref."産で記載された種。複眼の内線は明らかに波曲する。内側隆線は短く不明瞭であるが、ときに全く欠く。上翅は各3個の毛斑のほか翅端近くも白色毛で覆われる。ケヤキにつく種。

県の中央部から北にかけて広く分布しているように思われる。

産地。宍粟郡福知溪谷[1ex.,3.VI.1975,M.Yumaleg.], 音水[1ex.,20.VII.1959], 赤西[2exs.,28.V.1972,etc.,H. Hatanaka leg.],(14exs.,23.VI.1979)。多紀郡丹南町竜造寺[辻,1970]。氷上郡春日町黒井[山本,高橋,1962]。養父郡氷の山[4exs.,10.VI.1972,etc.,K.Tsuji leg.]. 美方郡扇の山[奥谷,1954, 辻,岸田,1972, 高橋,1970].

47. *Agrilus spinipennis* Lewis,1892

ケヤキナガタママシ

体長,8.2-11.5mm. Lewis が Oyama, Kanagawa Pref. 産で記載された種。Obenberger が Nikko, Tochigi Pref.産で *Agrilus dentiaex* として記載された種もこの種に当たる。ケヤキにつくタママシである。尾節板の先端まるく、上翅端はとがる。この種も県の中央部から北にかけて広くいるように思われる。

産地。宍粟郡赤西(11exs.,23.VI.1979)。多紀郡篠山町小倉岳[辻,1970]。氷上郡春日町黒井[山本,高橋,1982]。美方郡扇の山[辻,1970, 辻,岸田,1972, 高橋,1982].

48. *Agrilus subrobustus* E.Saunders,1873

ネムノキナガタママシ

体長,3.6-6.5mm. 前胸の側縁部は平圧されず、内側隆線は軽く湾曲し、短く、側隆線に結合しない。上翅は白色の短毛で覆われる。ネムノキにつく

く。

兵庫県には広く分布し、多く見られる。

産地。三原郡諭鶴羽山[久松,1974]。神戸市北区藍那(1ex.,21.VI.1993),木津(1ex.,11.V.1984),八多町屏風(2exs.,12.V.1993)。小野市山田(1ex.,18.VI.1987),加東郡東条町森(1ex.,11.V.1984,etc.),社町三草(1ex.,14.VII.1989),掛保郡新宮町福原(2exs.,7.VII.1992)。城崎郡日高町奈佐路(1ex.,22.V.1986,etc.),香住[高橋,1975,1982]。養父郡氷の山[辻,畑中,1973,高橋,1982]。

49. *Agrilus takahashii* Toyama,1988

タカハシナガタママムシ

体長,4.7-6.5mm。ウグイスナガタママムシによく似た種である。兵庫県下の記録は原記載(Kontyu, Vol.56, No.4, pp.754-756, 1988)に示されたタイプ標本のみである。尚、種名は遼山雅夫氏が筆者の名をつけて下さったものである。

産地。宍粟郡赤西[Holotype: ♂, allotype: ♀, Akasai Hyogo Pref.,Japan,24.VI.1979,M.Toyama lgt.

Paratypes,1♀, Akasai, Hyogo Pref.,Japan,23.VI.1979, T.Takahashi lgt.]。

50. *Agrilus tempestivus* Lewis,1892

ウグイスナガタママムシ

体長,4.0-8.0mm。Lewis により"Usuitoge,Gunma Pref. Fukui, Fukui Pref. Chiuzenji To-chigi Pref. Kurigahara, Nagano Pref." 産標本で記載された種である。

内側隆線は強く波曲し、長いが形状の変化が多い。上翅は毛斑をもたない。尾節板の先端はまるい。シデ、ミズナラなど種々の樹木につく。

兵庫県下には広く分布しているようである。

産地。川西市笹部[仲田,1978,1982]。宝塚市香合新田[伊藤,1992]。多紀郡雨石山[Hayashi etc.,1995]。宍粟郡福知溪谷(2exs.,16.VI.1975,M.Yuma leg.,etc.),音水(1ex.,20.VII.1959,etc.),赤西(1ex.,3.VI.1979)。養父郡坂の谷(1ex.,22.VII.1979)。

(TAKAHASHI TOSHIO 神戸市兵庫区氷室町1-44)

きべりはむし第25巻2号における 記録の訂正 稲畑憲昭

本誌25(2)において高橋寿郎氏により、稲畑採集による記録の発表がなされたが、稲畑の連絡の不慎のため誤ったデータを伝えてしまいました。この場をもって訂正します。

* p. 60, 左, 上から5行目, p. 60, 右, 下から7行目, p. 61, 左, 上から3行目, p. 61, 左, 上から12行目
篠原祖母野山(誤) → 篠原伯母野山町(正)

* p. 60, 左, 下から20行目(キノコゴミムシの項)
市島町塚原妙高山 → 市島町北奥塚原、妙高山(正)

* p. 60, 左, 下から14行目(キンバネハネカクシの項)
桜の木から(誤) → 畑の桜の木の下の腐植物質の下から(正)

* p. 60, 左, 下から7行目(タテジマカネコメツキの項)

神泥寺(誤) → 神池寺(正)

※タテジマカネコメツキの和名に入カミスがありました。謹んでお詫びします(編集者)

* p. 60, 右, 上から9行目

27. VI. 1996(誤) → 27. VI. 1997(正)

* p. 60, 右, 下から7行目, p. 61, 左, 上から3行目, p. 61, 左, 上から12行目

六甲学院の上(誤) → 長峰山登山道入り口付近(正)

* p. 61, 左, 上から8行目及び13行目

コササコクゾウ → 取り消し

採集した個体は全てササコクゾウでした。

* p. 61, 左, 上から14行目

ヒメササ(誤) → ササの1種(正)

* p. 61, 左, 上から15行目

19. VI. 1996(誤) → 19. VI. 1997(正)

ササコクゾウムシとワダカミキリモドキは高橋寿郎氏に重複標本を送って同定して頂きました。感謝します。

(INAHATA NORIAKI 神戸市灘区八幡町1-54-C202)